第25期貸借対照表

令和4年 3月31日現在

(単位:円)

																		<u> </u>	
	<u></u> 科			1_			金	額	1	7	<u> </u>		目				<u>金</u>	額	
			<u>資</u>	産	の	部							<u>負</u>	債	の	部			
流	動	資	.	産			132,	250,749	流	動	j	<u>負</u>	f	責				8,04	9,130
	現	金.	及で	CK :	預 :	金	119,	551,385	5	ヺ	ŧ		払		金			1,83	2,337
	売		掛	į	:	金	12,	685,884	Ł	ヺ	た お	ム法	人	、税	等			1,00	4,000
	未	収	法	人	税	等		13,480)	ヺ	た お	ム消	負費	砂税	等			65	5,100
										育	Í	受	Ţ	仅	益			4,11	5,637
										予	頁		り		金			3	9,156
										貨	賞 -	与	引	当	金			40	2,900
固	定	資	E	産			658,	968,199	固	定	<u> </u>	<u>負</u>	f	責]	14,08	5,840
	有形	固定	三資	産			32,	829,799	2	予	頁	り	見	敦	金		1	1,08	5,840
	建				ļ	物	23,	577,55	-	华	寺別	亅修	繕	引当	金			3,00	0,000
	構		築		ļ	物	9,	002,186	<u> </u>										
	工具	具、岩	具器	及で	び備	品		250,062	2	負	債		合	計	-		2	22,13	4,970
												純	貨		崔 0)部	3		
									株	主	<u> </u>	<u>資</u>	7	<u> </u>			76	59,08	3,978
	無形	固定	資	産			1,	138,400)	資		7	K		金		10	00,00	0,000
	電	話	加	7	人;	権	1,	138,400)	資	本	:	钊	余	金		1,33	39,50	0,000
										7	との	他資	本	剰会	全余		1,33	39,50	0,000
	投資	その	他位	の資	資産		625,	000,000)	利	益	牙	钊	余	金		<u>∆ 67</u>	70,41	6,022
	長	期	性	予	頁 :	金	225,	000,000)	7	<u>-</u> の	他禾	川益	剰彡	金纤		△ 67	70,41	6,022
	投	資:	有有	画	証	券	400,	000,000)		繰	越利	」益	剰쉵	金角	∠	△ 67	70,41	6,022
										純	資	産	合	計	•		76	59,08	3,978
	資	産	合	計			791,	218,948	3	負債	〔• 約	屯資	産行	信合	,		79	91,21	8,948

第25期損益計算書

自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日

(単位:円)

I	売 上 高 1. 施 設 賃 貸 収 入 2. 施 設 利 用 収 入 3. 施設賃貸利用料付帯収入 4. 受 託 事 業 収 入	46,996,260 338,537 741,972 34,093,858	82,170,627
II	売上原価 1. 施設賃貸利用料原価 2. 受託事業収入原価 売上総利益	31,219,823 29,766,129	60,985,952 21,184,675
Ш	販売費及び一般管理費 営 業 利 益		20,363,491 821,184
IV	営業外収益 1. 受取利息 2. 有価証券利息 3. 雑収入 (株別前当期純利益 (株)、住民税及び事業税当期純利益	25,574 62,500 5,277,148	5,365,222 6,186,406 6,186,406 1,010,300 5,176,106

第25期個別注記表

- 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1)資産の評価基準及び評価方法
 - ① 有価証券の評価基準及び評価方法 満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっております。
 - (2)固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産・・・定額法によっております。
 - ② 無形固定資産・・・定額法によっております。
 - (3)引当金の計上基準
 - ①賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当期に負担すべき額を 計上しております。

2 特別修繕引当金

賃貸用設備の定期修繕に備えるため、将来の修繕見積額に基づき必要額を計上しております。

(4)収益及び費用の計上基準

収益に関する計上基準

水道光熱費収入

施設賃貸利用料付帯収入に含まれている水道光熱費収入のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、他の当事者が供給する電気、水道等の料金として収受する金額から当該他の当事者に支払う額を控除した純額を収益として認識しております。

(会計方針の変更に関する注記)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」といいます。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を当期から適用し、約束した財又はサービスの支払いが顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。当該会計基準等の適用が当期の財務諸表に及ぼす影響はありません。

- (4)その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - ① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1)有形固定資産の減価償却累計額

85,772千円

(2)有形固定資産の減損損失の累計額

458,678千円

- 3. 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1)発行済株式の総数に関する事項

①当期末における発行済株式の数

28,790株

4. 金融商品に関する注記

(1)金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的及び長期的な預金及び満期保有目的の国債及び地方債で運用しております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

令和4年3月31日(当期の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	119,551	119,551	_
(2)売掛金	12,685	12,685	_
(3)長期性預金	225,000	225,000	_
(4)投資有価証券(満期保有目的債券)	400,000	399,245	△ 755

(注1) (1)現金及び預金、並びに(2)売掛金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)長期性預金

新規に預金を設定した場合に想定される預金金利と約定金利との間に大幅な変動がなく、時価は帳簿価額と近似していることから、帳簿価額によっております。

(4)投資有価証券(満期保有目的債券)

時価については、日本証券業協会の公社債店頭売買参考統計値表によっております。

5. 関連当事者との取引に関する注記

(1)主要株主

(単位:千円)

名称	議決権等の 所有割合	取引科目	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
石巻市	24.52%	受託事業収入	セミナー等の受 託事業	33,578	売掛金	11,235

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 取引価額その他の取引条件は、市場の実勢を参考に折衝の上決定しております。
- (注2) 石巻市より石巻ルネッサンス館建物敷地9,957.02㎡を無償にて借受けております。
- (注3) 取引金額には消費税等は含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。
- 6.1株当たり情報に関する注記
 - (1)1株当たり純資産価額

26,713円58銭

(2)1株当たり当期純利益

179円79銭

- 7. 賃貸等不動産に関する注記
 - (1)賃貸等不動産の状況に関する事項 当社は、宮城県石巻市において、賃貸用の施設を有しております。
 - (2)賃貸等不動産の時価に関する事項

(単位:千円)

	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
貸借対照表計上額	時価
32,579	30,700

- (注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除 した金額であります。
- (注2) 時価の変動が軽微であると考えられるため、平成22年の不動産鑑定士の不動産鑑定評価額をもって時価としております。